

授業科目名	ソーシャルワーク演習	単位数	2単位
担当教員名	堀越由紀子、平雅夫、砂田淳一郎、 神原由佳、矢原絵里	担当形態	複数
実務内容 (実務家教員の場合)	社会福祉士として福祉現場の経験がある教員が、実践的視点からソーシャルワークについて指導する。		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）</p>			
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>社会福祉士が働く分野は多様であるが、人間の尊厳の尊重と社会的公正の希求という価値と原理、それに基づく専門知識や専門スキルを駆使して行われる実践はソーシャルワークとしての普遍性をもっている。 そこで、本科目では、以下を到達目標とする。 ①ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目内容を踏まえ、社会福祉士に求められる専門力量を理解する。 ②ソーシャルワークの価値規範と専門職倫理を実践的に理解する。 ③ソーシャルワーク実践に必要な関係形成スキルや協働スキルを実践的に理解する。 ④ソーシャルワーク実践の展開過程において用いられる知識とスキル、その統合について実践的に理解する。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>社会福祉士に必要なソーシャルワークのスキル等について演習形式の授業を通して学修し、ソーシャルワーカーとしての力量を形成していく。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：ソーシャルワークの体系について 第2回：ソーシャルワークにおける自己の活用 第3回：他者との関係形成の技法（1） 第4回：他者との関係形成の技法（2） 第5回：基本的な面接技術（1） 第6回：基本的な面接技術（2） 第7回：グループワーク技術（1） 第8回：グループワーク技術（2） 第9回：ソーシャルワークの展開過程（1） 第10回：ソーシャルワークの展開過程（2） 第11回：ソーシャルワークの展開過程（3） 第12回：ソーシャルワークの展開過程（4） 第13回：ソーシャルワークの展開過程（5） 第14回：ソーシャルワークの記録 第15回：プレゼンテーション技術 科目修得試験</p>			
<p>スクーリングでの学修</p> <p>ソーシャルワーク専門職としての倫理と価値に基づく実践を行うことを目指して、専門知識とスキルを体験的に学習する。事例は、多様な領域から選定し、ケースの発見からアフターケアまでの過程を念頭に考察する。</p>			
<p>テキスト</p> <p>なし</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>適宜紹介する</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>レポート評価（25%）、スクーリング評価（50%）、科目修得試験（25%）</p>			